

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

【重要】関西支部ニュースの印刷・郵送廃止とメールアドレス集約について

【重要】支部会員の種別化について

関西支部第 26 期第 7～9 回常任理事会の報告
2005 年度秋季大会（神戸大学六甲台地区開催）の報告
2005 年度関西支部例会・講演会開催の報告
日本気象学会関西支部第 27 期役員選挙に係わる選挙管理委員の任命
日本気象学会関西支部第 27 期役員選挙告示
関西支部 2006 年度理事会・総会・年会の開催について
関西支部第 28 回夏季大学の予定について
関西支部 2006 年度例会開催募集
研究グループの新規募集
2006 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集
年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について
バックナンバー情報
住所変更される方へのお願い

〒 540-0008
大阪市中央区大手前 4 丁目 1-76
大阪合同庁舎第四号館
大阪管区気象台内
日本気象学会関西支部
振替 00980-5-18318
TEL (06)6949-6323
FAX (06)6944-2121

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/>
E-mail msj-kns@s2.dion.ne.jp

【重要】関西支部ニュースの印刷・郵送廃止とメールアドレス集約について

関西支部常任理事会では、関西支部の財政が大変厳しい状況であることを 2004 年 8 月 10 日発行の関西支部ニュース第 247 号「関西支部ニュースのホームページ利用による経費削減について」において、お知らせしました。その後、ご意見をいただくなどして、関西支部ニュース第 248 号においては、「支部ニュースの印刷や郵送は原則として廃止し、関西支部ホームページに掲示される支部ニュースを閲覧していただく。支部ニュース発行の通知は、基本的に支部全会員に E-mail で配信する。郵送の取りやめは 1 年延期して 2006 年度からとする。」として、2005 年度総会において承認されました。

また、第 250 号においても会員の E-mail アドレスの登録を重ねてお願いしてまいりました。現在、E-mail アドレスの集約は 7 割に達していますが、登録のお願いをする中で個人情報保護の関係でお断りをされる会員もありました。

E-mail で通知する体制は昨年 10 月に整っていますが、まだアドレスの登録が済んでいない会員については、会員氏名・番号及び E-mail アドレスを関西支部事務局まで、ご登録いただくようお願いします。

なお、支部ニュースの発行は新年度も、「5 月下旬（総会前）」、「8 月下旬（夏期大学後）」、「3 月中旬（各地区例会終了後）」の年 3 回を予定しています。

会員の皆様にはご不便をお掛けしますが、学会支部財政の実情を勘案いただき、ご理解と協力をお願いします。

登録先 〒540-0008 大阪市中央区大手前 4 - 1 - 76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部
E-mail:msj - kns@s2.dion.ne.jp TEL:06-6949-6321 FAX:06-6944-2121

【重要】支部会員の種別化について

支部会員の種別化については支部ニュース第 250 号でお知らせしましたが、第 9 回常任理事会においても討議されましたので報告します。

会員の種別化について、本部では【天気 Vol.51、No.8(2004 年 8 月号)、P582】において、「会員の多様性を考慮して従来の特別会員の枠を拡大し、各個人の自主選択により通常会員にも特別会員になることができるようにする」として、個人会員について新規登録のお願いをしました。会員登録は一昨年(2004 年)の秋にハガキ投函によって全会員が済ませています。関西支部でも本部の趣旨に沿って、会員の種別化を考えています。この背景には、総会の成立が通常会員の過半数以上の出席・委任を必要としますが、締切り日が近づいても過半数が集まらず、事務局として困惑する状況が続いていることがあります。総会でご提案することとしましたので、よろしくをお願いします。

関西支部第 26 期第 7~9 回常任理事会の報告

第 26 期第 7 回常任理事会は 2005 年 10 月 5 日(水)に開催し、以下の議題について討議を行いました。

第 27 回夏季大学報告
メールアドレスの集約とメーリングリストの開設
2005 年度秋季大会関連

第 26 期第 8 回常任理事会は 2005 年 12 月 19 日(月)に開催し、以下の議題について討議を行いました。

2005 年度各地区例会の開催と予定
メールアドレスの集約とメーリングリスト、関西支部ニュース発行
調査研究奨励金と研究グループ助成金の授与について
気象学会 2005 年度秋季大会の総括と決算

第 26 期第 9 回常任理事会は 2006 年 2 月 28 日(火)に開催し、以下の議題について討議を行いました。

2005 年度第 3 回神戸例会(海洋気象学会との合同例会)の運営について
支部ニュース第 251 号の発行
支部ニュースの印刷と郵送の廃止等の通知
2006 年度関西支部調査奨励金および研究グループ助成金の授与の選出
会員の種別化について
第 27 期日本気象学会関西支部役員選挙(2006 年度)と 4 月異動期の役員交代
2006 年度関西支部理事会・総会・年会
第 28 回夏期大学

なお、議事の詳細については関西支部のホームページにある「関西支部常任理事会議事録のページ(http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/meeting/meeting_log.html)」をご覧ください。

2005 年度秋季大会(神戸大学六甲台地区開催)の報告

2005 年度秋季大会は、関西では 5 年ぶりの全国大会となり、平成 17 年 11 月 20 日(日)~22 日(火)の 3 日間、神戸大学六甲台地区(神戸市灘区)を会場として開催しました。会場がこれまでとは異なり大学内キャンパスという

こともあってお天気など心配していましたが、3日間とも天候に恵まれ、700名を超える多くの方々に参加して頂きました(2005年度秋季大会報告:天気Vol.53, No.1(2006年1月号)、P63)。

大会開催までには関西支部常任理事会において、早くから日程、会場について検討したあと、平成15年2月に第1回実行委員会を開いて具体的な準備に取り掛かりました。その後も、本部事務局からのアドバイスを受けるなど、実行委員会では大会に向けての討議を重ねてまいりました。

大会終了後には、理事長はじめ参加者の方からはすばらしい大会であったとお言葉を頂きました。これも一重に、支部会員各位のご尽力の賜物と存じます、心より御礼申し上げます。

2005年度関西支部例会・講演会開催の報告

第1回例会 (四国地区、香川大学で開催)

第1回例会は、2005年12月2日(金)、香川大学研究交流棟で開催された。例会には高知大学、香川大学、岡山大学、高松地方気象台等から62名の参加者があった。

この例会には四国地区例会が始まって以来最も多くの20件の講演申し込みがあり、第1部(乱流、竜巻・ダウンバーストなど)、第2部(局地気象、台風災害)、第3部(前線・低気圧、四国の気候・気象特性)の3部に分けて発表が行われた。大野久雄四国地区理事の挨拶の後、第1部岡本利次(高松地方気象台)、第2部吉田真純(日本気象協会)、第3部佐々浩司(高知大学)を座長として進められた。講演時間は討論も含めて8分という例会としては短い時間制限で行われたが、密度の濃い発表と活発な討論がなされた。とくに若手の発表者が多く、講演の約半数は大学院学生によるものであったが、時間厳守で要領よく発表していたのが印象的であった。歌曲と季節に関する発表などもあり、多岐にわたるテーマについて聴くことが出来た。一般研究発表の後、木田秀次氏(京都大学大学院)による特別講演「気候モデリング - グローバルからローカルまで - 」と題して行われた。講演では同氏が気象研究所在籍中に取り組んだ気候数値モデルの研究について、当時のOHPなどを用いながら説明し、気候予測モデルがどのような基礎的研究に基づいて発展してきているのかについて述べた。また、京阪地域を対象とした気候モデルの取り組みについても紹介された。今日、さまざまな気候予測モデルによる地球温暖化予測が行われているが、これらの研究の基礎となる研究がどのように進められたか知ることのできる興味深い講演であった。特別講演後、会場を香川大学生協に移して懇親会が行われ、例会参加者の多くが参加し、昼間の議論の続きや懇談に花が咲いた。例会開催後、高知大学の千葉修会員より「例会要旨集を事前に希望者に配布するようにすれば、議論がさらに活発になるのではないか」という趣旨のご提案をいただいた。今後の例会の活性化を図る上で貴重な提案であるので、理事会で検討をお願いしたい。

本例会の開催にあたり、関係者の皆様には多大なご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

(香川大学教育学部 森征洋)

第2回例会 (中国地区、広島県立総合体育館で開催)

日本気象学会関西支部2005年度第2回例会(中国地区)が2005年12月10日(土)に広島県立総合体育館小会議室で開催された。

岡山大学、岡山理科大学、広島女子大学、広島工業大学、広島市環境保健センター、近畿中国四国農業研究センター、中国四国農政局、広島地方気象台等から約39名の参加者で会場がほぼ一杯となる中、竹内厚人会員(広島地方気象台)の司会により研究発表が定刻に開始された。最初に、江口一平中国地区理事(広島地方気象台長)の「大学と気象台や県の機関等の一年に一回の交流の場であり、また若い学生諸君との接触も気象台職員にとっては気象学に対するよい刺激を受ける絶好の機会であり、活発な議論をお願いする」などの挨拶があり、続いて午前中を竹内会員、午後の前半を宮田賢二会員(広島女子大学名誉教授)、午後の後半を岩田徹会員(岡山大学講師)を座長として研究発表が行われた。発表演題として20題が登録され、メソスケール現象(含:数値シミュレーション)、境界層(含:CO₂測定装置)、大規模場など多岐にわたる内容の発表が行われた。

研究発表の後、江口会員の司会により、行本誠史氏(気象庁気象研究所)による特別講演「グローバルな気候変動と日本の気候」が行われた。数値気候モデルの計算結果をベースに、グローバルな気候変動、日本の気候と関連する

変動モード、モデルによるグローバルな気候変動の再現、日本の気候の将来見通し、についてわかり易く講演され、また、モデルの感度を示すものとしてモデル内の台風の動きが動画で上映された。参加者一同が大気の研究者として地球温暖化問題について理解を深めるのに大変有用な講演であった。時宜を得た内容の特別講演であることから地元の報道機関にも公開され、NHKから取材があり翌日のTVニュース等で放送された。

例会の最後に、宮田会員から、「支部例会は間口が広く、気象の専門家以外も参加できる良い機会になっている。気象学発展のためにも活発になって行くことを期待する。例会を準備しお世話頂いた気象台の関係者に深く感謝する。」旨の挨拶があり成功裏に例会を終了した。

例会終了後、中心街のデパート最上階食堂街に場所を移し懇親会が行われた。懇親会参加者は例会で言い足りなかったことや感想を述べ合い、学会の更なる発展を誓い合った。

本例会の開催にあたり、関係者の皆様から多大なご支援とご協力を頂いた。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

(広島地方気象台 江口一平)

第 3 回例会 (近畿地区、神戸大学海事科学部総合学術交流棟コンファレンスホールにおいて開催)

第 3 回例会は海洋気象学会第 2 回例会と合同で 2006 年 2 月 21 日神戸大学海事科学部総合学術交流棟コンファレンスホールにおいて開催された。当日は神戸大学をはじめとする大学関係者、気象台関係者など約 30 名の参加者があった。例会は関根義彦(三重大学)、今井正直(神戸海洋気象台)、大澤輝夫(神戸大学)の各会員が 3 つのセッションの司会を務められた。合計 18 題の発表があった。午前中の第 1 セッションは主に気象関係であり、神戸の気候要素の長期変動について、播磨平野の風について、メソ気象モデル及び衛星搭載合成開口レーダを用いた大阪湾の海上風推定、海上の風速鉛直プロファイルに関する研究(第一報)、2005 年 4 月 26 日に京都市を通過したガストフロントについて、鈴鹿おろしの変動の 6 題の発表があった。午後のセッションは海洋関係であり、ポラリメトリック SAR を用いた船舶と航走波の識別、瀬戸内海における現場の観測水温と気象衛星 NOAA から解析した水温との比較結果、尾鷲湾の海洋構造観測、伊勢湾とその沖の潮流観測、台風の強度変化と上層の海洋貯熱量の関係、台風第 0423 号に伴う富山湾での強風に関する数値シミュレーションの 6 題であった。休憩を挟んでの第 3 セッションは平成 17 年(2005)8 月宮城県沖地震の前兆現象、親潮中層水のゆくえについて、2004、2005 年にかけての黒潮大蛇行の経過報告、最近の黒潮の力学、Simulation of sea level of the Java Sea using an oceanic general circulation model、西部赤道太平洋域における船上観測データによる衛星海色プロダクト検証に関する研究の 6 題であった。発表時間は各講演 15 分であったが、活発な質疑応答が行なわれた。

特別講演は気象庁気象研究所台風研究部第二研究室長の中澤哲夫氏による「TRMM のレーダーとマイクロ波放射計から推定された降水量差の要因」と題して行なわれた。打ち上げから 8 年以上になる豊富な TRMM (熱帯降雨観測衛星) データと降水量データをもとにした講演は現象面ばかりでなく、TRMM の歴史やレーダーによる降水アルゴリズムまで幅広くカバーされ、興味深い内容であった。

例会終了後、コンファレンスホール前のロビーにおいて懇親会が開かれ、学生を含めた多数の参加者があった。最後に、特別講演をお引き受けいただきました気象研究所中澤様、海洋気象学会、気象学会関西支部関係各位に厚く御礼申し上げます。

(神戸大学海事科学部 香西克俊)

日本気象学会関西支部第 27 期役員選挙に係わる選挙管理委員の任命

日本気象学会関西支部長は、日本気象学会関西支部役員選挙細則により、2006 年 3 月 1 日、次の会員を選挙管理委員に任命しました。

宮北吉美 会員(大阪管区気象台) 南條政弘 会員(大阪管区気象台) 飯田早苗 会員(大阪管区気象台)

日本気象学会関西支部第 27 期役員選挙告示

日本気象学会関西支部規約（第 9 条）及び日本気象学会関西支部役員選挙細則に基づき、次期役員の選挙を以下の要領で実施する。

日本気象学会関西支部選挙管理委員会
〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区气象台技術部気候・調査課内（電話 06-6949-6323）
（委員）宮北吉美、南條政弘、飯田早苗

(1) 選出する役員数

常任理事 7 名、地区理事 2 名（近畿・中国・四国各 2 名）、会計監査 1 名

(2) 立候補の届出

- ア．立候補の資格 2006 年 4 月 1 日現在で関西支部の通常会員である者。
- イ．届出の手続き 立候補もしくは候補者を推薦する者は、選挙管理委員会に届出用紙を請求し、必要事項を
もれなく記載の上、同委員会に提出すること（郵送可）。
- ウ．届出の期間 2006 年 4 月 3 日（月）から 2006 年 4 月 19 日（水）までに届けること（必着）。
- エ．届出の宛先 〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区气象台技術部気候・調査課気付日本気象学会関西支部選挙管理委員会
- オ．立候補者の資格審査 立候補届出期間終了後、速やかに行う。
- カ．立候補者名簿の記載順序 立候補者資格審査合格者について、選挙管理委員会が抽選により定める。
- キ．立候補受付状況の公開 立候補届出者の氏名は、関西支部事務局およびホームページで随時公開する。

(3) 投票

- ア．投票の実施 立候補者がそれぞれの役員の定数を超えた場合に実施する。立候補者がそれぞれの役員の定
数内の場合は無投票当選とする。
- イ．有権者資格 2006 年 4 月 1 日現在で関西支部の通常会員である者。
- ウ．選挙公報および投票用紙 選挙公報（立候補者名簿を含む）と投票用紙は、全有権者に郵送する。これが
2006 年 4 月 28 日（金）までに届かない有権者は直ちに選挙管理委員会に申し出ること。
- エ．投票期日 2006 年 5 月 12 日（金）までに選挙管理委員会に持参または郵送すること（郵送の場合は 2006
年 5 月 12 日以前の消印のあるものを有効とする）。
- オ．投票方法 無記名文書投票。投票方法の詳細は投票用紙とともに郵送する。

(4) 開票および結果の公表

- ア．開票期日 開票は 2006 年 5 月 17 日（水）、大阪管区气象台内にて行う。有権者はこの開票に立ち会
うことができる。
- イ．当選者の決定 選挙細則第 5 条による。
- ウ．結果の公表 結果は、当日関西支部事務局（大阪管区气象台）に掲示し、かつ関西支部ホームページに
掲載する。また、「支部ニュース」第 252 号に掲載する。

日本気象学会関西支部役員選挙細則

1. 理事および会計監査（以下、役員）は、会員による選挙で、自薦立候補者と会員 2 名以上の推薦による立候補者
（以下、両者を立候補者とする）の中から選出する。
2. 常任理事および会計監査への立候補者の資格は、近畿地区（滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫各府県）在
住の会員とする。
3. 地区に属する府県、および各地区から選任する地区理事の定数は次のとおりとする。
近畿地区（滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫各府県）2 名
中国地区（鳥取、岡山、島根、広島各県）2 名
四国地区（香川、徳島、愛媛、高知各県）2 名

4. 選挙は、無記名連記の文書投票による。連記する数は、役員の数とする。但し、立候補者が定数内の場合は無投票当選とする。
5. 役員の当選は、常任理事と会計監査にあつては有効得票数の多い順、地区理事にあつては各地区毎に有効投票数の多い順によって定める。ただし、得票数が有権者総数の 10 分の 1 に満たない立候補者は、役員となれない。
6. 役員が、該当する地区の外に異動したときは失格とする。
7. 役員が特別の事情により辞任を申し出た場合は、その任期中においても、常任理事会の議決により、解任することができる。
8. 役員に欠員が生じた場合は、次点者を後任役員とする。次点者がいない場合は、常任理事会の議を経て、支部長は該当する地区の会員から、後任役員を推薦することができる。支部長が推薦した後任役員は、総会で選任されるまでの間、役員に準じて職務を行うことができる。後任役員の任期は、前任者の残り期間とする。
9. 立候補者あるいは推薦者は投票締切日の 25 日前までに、立候補者名、立候補する役員名を記入して、書面により選挙管理委員会に提出しなければならない。
10. 選挙に際してはその都度選挙管理委員を若干名おく。委員は会員の中から支部長が任命する。
11. 立候補者は、選挙管理委員となることはできない。
12. 選挙管理委員会は、支部規約および本細則に従い、以下の任務を行う。
選挙の告示、役員立候補者の受付と発表、投票の実施、開票と結果の発表
13. 投票を実施する場合、選挙管理委員会は、立候補者名を投票締切日の 20 日前までに、会員に告示する。
14. 投票は所定の投票用紙と封筒により、選挙管理委員会に郵送、または持参するものとする。郵送の場合は投票締切日の消印のあるものまで有効とする。
15. 選挙の結果は、支部長が選挙後、最初の総会で報告する。

付則

この改正は 1995 年 6 月 20 日から実施する。

この改正は 1998 年 6 月 17 日から実施する。

関西支部 2006 年度理事会・総会・年会の開催予定について

2006 年度の関西支部理事会、総会および年会を以下のように開催する予定です。詳細は追って連絡しますので、多数のご参加をお願いします。

日 時：6 月 17 日（土）

場 所：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 3 番 49 号

最寄駅：JR 東西線大阪城北詰駅（2 号出入口から西へ 550m）

京阪・地下鉄谷町線天満橋駅

（1 番出入口から東へ 350m）

電 話：06 - 6910 - 8500

URL：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

会 場：理事会 中会議室

総会・年会 大会議室



【総会について】

1. 総会提出議題

総会に提出したい議題があれば、4 月 21 日（金）までに関西支部事務局までお知らせください。

2. 総会委任状について

御存知のように総会成立に要する定数が通常会員数の「2 分の 1」以上という極めて厳しい条件に変わっています。つきましては、総会に出席される方も出席されない方も全員、郵送等で委任状を関西支部事務局に提出していただくようご協力願います。

なお、総会に出席された場合は、総会における意思表示が委任状よりも優先されます。

3. 総会資料について

総会資料は委任状用紙とともに総会開催日までにお届けします。

【年会について】

1. 発表申込締切日 4月21日(金)
2. 原稿締切日 5月19日(金)
3. 発表時間 1題につき概ね15分の予定です。
4. 発表申し込みについて

申込先(例会・講演会担当:堀之内武幹事)

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 堀之内武 行き

E-mail アドレス msj-kns@s2.dion.ne.jp

申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール(締切日必着)で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。

要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部のホームページ(<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/regular/genko.html>)でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。

要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。

ビデオおよびスライドでの発表はできません。

日本気象学会関西支部 2006 年度年会発表申込

- ・発表題目:
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も):
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター):
- ・代表者氏名(連絡先):
- ・連絡先住所:〒
- ・連絡先電話:TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス:

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者(支部会員のみ)を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」にもとづいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申込ください。

申込先(松村哲常任理事)

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 松村哲 行き

E-mail: msj-kns@s2.dion.ne.jp TEL: 06-6949-6321 FAX: 06-6944-2121

締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日

申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2006 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会(例会の場合は地区名を含む):

- ・発表題目:
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も):

- ・ 旅費(片道)の見積もり：
- ・ 代表者氏名(連絡先)：
- ・ 連絡先住所：〒
- ・ 連絡先電話：TEL() FAX()
- ・ 連絡先 E-mail アドレス：

例会・年会旅費助成要領

(目的)

1. 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

2. 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
3. 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
4. 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
5. 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

6. 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
7. 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

8. 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

9. その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

関西支部第28回夏季大学の予定について

第28回夏季大学を7月下旬または8月上旬の開催予定で準備を始めました。詳細については今後の「支部ニュース」や「『天気』支部だより」でお知らせします。

関西支部2006年度例会開催募集

2006年度例会の開催および開催場所を下記細則により募集します。例会の開催を希望される会員は、各地区理事を通じて支部長宛申し込んでください。申込締切日は4月21日(金)です。

申込先(例会・講演会担当：石川裕彦常任理事)

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所 気象水象災害研究部門 石川裕彦 行き

E-mail : msj - kns@s2.dion.ne.jp

例会開催に関する細則

(目的)

1. 気象学の研究を盛んにし、その進歩を図り、支部会員相互の情報交換等を図るために例会を開催する。

(開催・開催場所)

2. 開催及び開催場所は、原則として、第 3 項の開催条件をもとに、第 5 項の募集により常任理事会において決定する。なお、各地区理事は各地区で少なくとも年 1 回以上例会を開催するよう努力するものとする。

(開催条件)

3. 要望主体者側でテーマの選定、会場の確保を始めとする例会の運営をすべて行う。但し、必要な場合は、常任理事、地区理事の支援を求められることが出来る。

なお、講演の申込み受け、予稿集の作成、配布、学会員への周知(支部ニュース)は事務局で行い、運営経費として 2 万円を支部が負担する。

(開催回数)

4. 開催総数は年に最高 5 回までとする。

(要望手続き)

5. 開催、開催場所の要望については、毎年募集(支部ニュース)することとし、各地区理事を通じて支部長あてに申込むものとする。

6. 支部長は、前項の要望を受けたときは、常任理事会においてその是非を図り、結果を申込み者に通知するものとする。

研究グループの新規募集

2006 年度の研究グループを下記の助成要領にもとづき募集します。申込締切日は 4 月 21 日(金)です。調査・研究に取り組むグループは、次の事項を明記して事務局まで申し込んでください。

1. 研究グループの名称
2. 研究代表者名・住所・連絡先
3. 研究の目的
4. グループに属する会員名とその所属

研究グループ助成要領

1. 目的

日本気象学会関西支部会員同士が共同して研究活動を行う機会を与えることにより、気象学の研究を盛んにし、併せて日本気象学会関西支部会員間の交流の活発化に寄与する。

2. 応募資格

- (1) 過半数が日本気象学会関西支部会員からなる 3 名以上のグループであること。
- (2) 異なった機関に属する会員で構成されていること。
- (3) 次のいずれかの方法で研究成果を公表できること。
 - ・日本気象学会大会で発表
 - ・日本気象学会関西支部年会・例会で発表
 - ・気象学会刊行物への投稿

3. 助成件数 年 1 件

4. 助成額と助成金の用途

- (1) 助成額は 15 万円以内とする。
- (2) 助成金は、消耗品費、旅費(例会等での発表にかかる旅費を含む)、通信費等にあて、備品購入にはあてない。

5. 募集

助成金受領グループの募集は、「支部ニュース」によって行う。

6. 助成金受領グループの決定

助成金受領グループは、常任理事会で選考し決定する。

7. 要領の改廃

この要領の改廃は、理事会で審議し決定する。

2006 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集

今回の募集は 2004 年、2005 度ともに奨励金授与者がありませんでしたので 2006 年度も募集するものです。受領者は会員の推薦に基づいて常任理事会で選考され、6 万円の奨励金が授与されます。関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を推薦していただくようお願いいたします。なお、締切日は 4 月 21 日（金）です。

推薦は A4 判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先（住所と電話番号）
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について

2006 年度に関西支部が発行する刊行物の購入には年間購読予約が便利でお得です。年会購読予約をされると、本代が 2 割引（通常 1 冊 600 円のところ 480 円）となるほか、発行のたびに速やかにお手元にお届けしますので、どうぞご利用ください。申込締切日は 4 月 21 日（金）です。

- 1 お届けする刊行物 : 年会講演予稿集（1 冊） 例会講演要旨集（3 冊）の計 4 冊
- 2 年間購読予約の方法 : 次の様式により事務局へお申し込みください。
- 3 年間購読予約料金 : 郵送の場合 2,760 円（送料込み） 事務局手渡しの場合 1,920 円
- 4 支払方法 : 第 1 回配本時に同封する郵便振替用紙によりお支払いください。

日本気象学会関西支部年間購読申込書

申し込み部数 _____ 部

・氏名または団体名：

代表者（ _____ ）

・送付先住所：〒 _____

・連絡先電話：TEL _____（ _____ ）

FAX _____（ _____ ）

・連絡先 E-mail アドレス：

・受取方法 _____（ 郵送 / 事務局手渡し ）

バックナンバー情報

既刊行物のバックナンバーは以下のとおりです。

<夏季大学テキスト>（括弧内は残部）

- 18 回 1996 年 気象・気候の科学 - 見る，聞く，世界の気象（41）
- 19 回 1997 年 天気変化の仕組みと新しい天気予報（0）
- 20 回 1998 年 日本に影響を及ぼす熱帯の気象 - 台風・エルニーニョ現象・モンスーン（6）
- 21 回 1999 年 大雨と災害（0）
- 22 回 2000 年 リモートセンシングと気象（0）
- 23 回 2001 年 気候変動（100）
- 24 回 2002 年 生活と気象（192）
- 25 回 2003 年 ~雨~（89）
- 26 回 2004 年 身近な気象学（144）

27 回 2005 年 台風(50)

< 年会講演予稿集 > (括弧内は残部)

1992 年(0)、1993 年(0)、1994 年(0)、1995 年(0)、1996 年(31)、1997 年(0)、1998 年(0)、1999 年(3)、2000 年(29)、2001 年(19)、2002 年(29)、2003 年(30)、2004 年(40)、2005 年(30)

< 例会講演要旨集 > (括弧内は残部)

79 回近畿 (中小規模現象)(21)	80 回四国 (局地気象)(32)
81 回中国 (中小規模現象と局地気象)(30)	82 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(32)
83 回中国 (15)	84 回近畿 (地球規模の気候変動と局地気候)(9)
85 回四国 (局地気象・中小規模現象)(19)	86 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(19)
87 回近畿 (西日本における最近の台風・豪雨)(5)	88 回中国 (15)
89 回四国 (局地気象・中小規模現象)(19)	90 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(0)
91 回四国 (27)	92 回中国 (4)
93 回近畿 (海洋気象学会と共催)(3)	94 回中国 (35)
95 回四国 (52)	96 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(12)
97 回中国 (12)	98 回四国 (32)
99 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(23)	100 回中国 (35)
101 回四国 (局地気象・中小規模現象)(36)	102 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(21)
103 回中国 (5)	104 回四国 (激しいメソスケール現象)(28)
105 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(52)	106 回四国 (36)
107 回中国 (30)	108 回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象)(60)

住所変更される方へのお願い

4 月は転勤・就職シーズンです。会員の皆様の中にも住所や職場を変更される方も多いかと存じます。機関誌などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の移動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には旧勤務地に発送され、旧勤務地の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により住所(勤務地)が変わった場合、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

特に 3 月末から 4 月初めに転居される会員の皆様につきましては、出来るだけ早く(3 月下旬までに)学会本部事務局宛に、下記の事項を郵送、FAX または電子メールでご連絡ください。

送付先：〒100 - 0004 東京都千代田区大手町 1 - 3 - 4
 気象庁内 日本気象学会事務局
 TEL 03-3212-8341 (内 2546)
 FAX 03-3216-4401
 E-mail metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp

住所等の変更届

・会員番号：

- ・旧勤務地(旧住所)：〒
- ・新勤務地(新住所)：〒

・氏名：